

氏名	友 保 敏
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 963 号
学位授与の日付	昭和53年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	Ehrlich 癌担癌マウスの細胞性免疫 第 1 編 部位別リンパ組織の抗腫瘍性の経日的推移について 第 2 編 腫瘍剔出後の部位別リンパ組織の抗腫瘍性の経日的推移について
論 文 審 査 委 員	教授 小川勝士 教授 寺本 滋 教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

動物癌細胞の表面には、宿主にはない腫瘍特異移植抗原 (T S T A) の存在が明らかとなり、共存免疫を成立している。第 1 編では、Ehrlich 癌を移植された担癌マウスの共存免疫能の経日的消長を、各リンパ組織リンパ球の標的抗原細胞に対する抗腫瘍性で部位別に検討し、まず局所リンパ節、脾に生じ、遠立リンパ節には遅れて生じてくることを報じた。第 2 編では腫瘍剔出後の共存免疫の消長を検討し、宿主に抗腫瘍性が十分に存在する時点で腫瘍を剔除すると、手術後も抗腫瘍性が長く存続することを述べた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はエールリッヒ癌移植マウスにつき、リンパ球の抗腫瘍性が先づ局所リンパ節と脾で増強し、遠隔リンパ節では遅れて生じること、及び宿主に抗腫瘍性が保持されている時期に腫瘍を摘出することが効果的であることを明らかにしたものであるが、担癌生体に於ける共存免疫の消長を実験的に追究したものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。